

全国国立大学附属学校PTA連合会 平成29年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	奈良教育大学附属小学校		
PTA名称	奈良教育大学附属小学校PTA	会長名	朝熊仁司
応募部門	組織改革部門		
事例名称	保育ボランティアによる見守り		

毎月1回程度開催される実行委員会の際に、各クラス委員の幼稚園児や低学年の子どもについて、従来は会議を行っている部屋の空きスペースで子ども達が随意に遊んでおり、時としてぐずったりすることもあり、会議を中断することがあるなど支障をきたすことも見られていた。また、そういった状況を懸念した保護者が、自身が会議に出る際に、低学年の子どもを先に家に帰らせるなどすることで、低学年の子どもが自宅で一人で留守番をさせざるを得ない状況も見られていた。

そうした中で、平成26年度に実施したPTA会員に対するアンケートにおいて、低年齢の子どもがいることが、委員を引き受ける上での心理的負担となっていることが明らかになり、さらに低学年及び幼稚園児を預かる保育ボランティアの導入についての要望があった。

我が校において、幅広い保護者に実行委員を担ってもらう必要があったことから、平成27年度から試行的に、小学校保護者による登録制の保育ボランティアを募ったところ、実施後3年が経過しているが、低学年の保護者を中心に毎年10名程度の登録があり、実行委員会の会議を行う部屋の隣の部屋において、事前に申し込みのあった子どもを対象として、事前に学校から依頼を受けた3～5名程度の保護者が2時間程度、子ども達に応じた遊びの提供をするなどしてくれており、委員である保護者は会議に集中して取り組むことができ、会議を早く終わらせることができるという相乗効果も生まれている。また、この間トラブルもなく実施できている。

子育てには色々な段階があるが、できる人ができるときにできることをを合言葉に、今後も多くの保護者で学校の取り組みを支えていくようにしたい。



保育ボランティアに見守られて思い思いに保護者を待つ子ども達